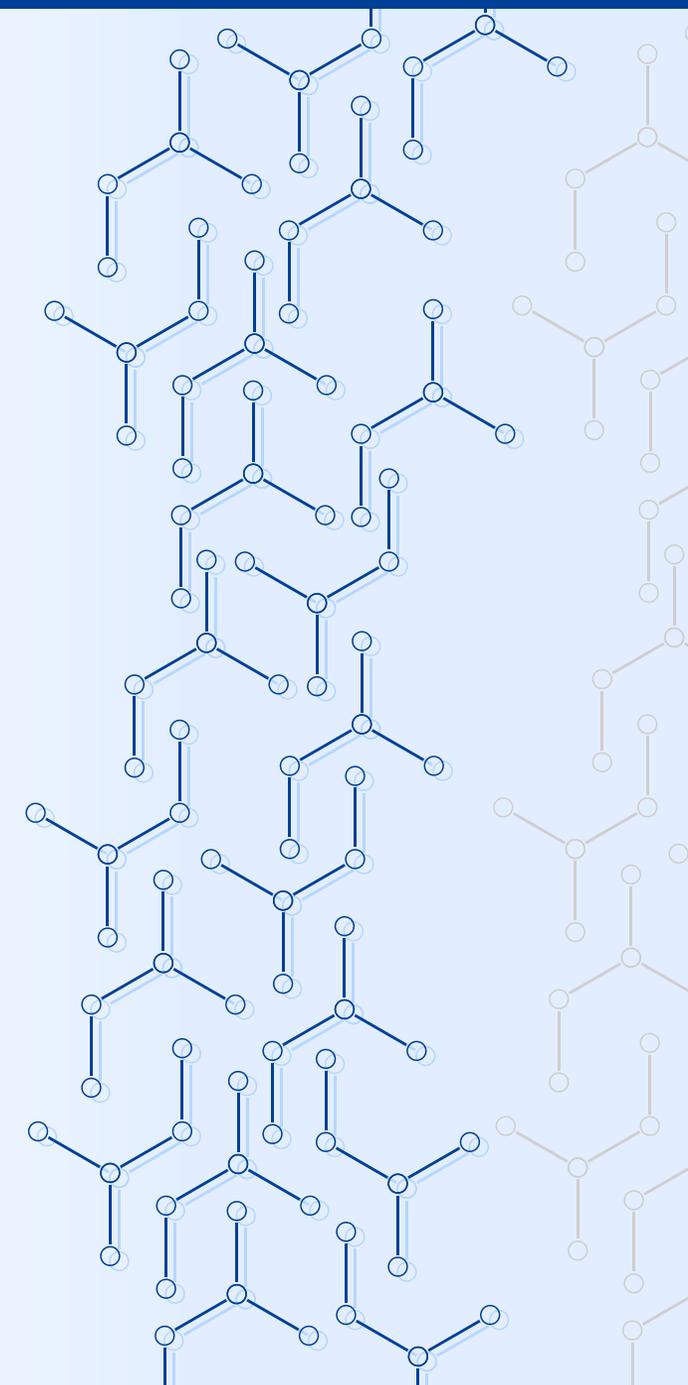


2025年3月期第3四半期決算の概要

2025年2月12日
東レ株式会社



I . 2025年3月期 第3四半期決算の概要	3
II . 2025年3月期 連結業績見通し	17
III . 参考資料	22

本日のサマリー

連結業績

- 1 第3四半期累計の事業利益は1,088億円、前年同期比で大幅な増益
- 2 通期見通しはセグメントの内訳の修正はあるものの前回見通しを据え置き

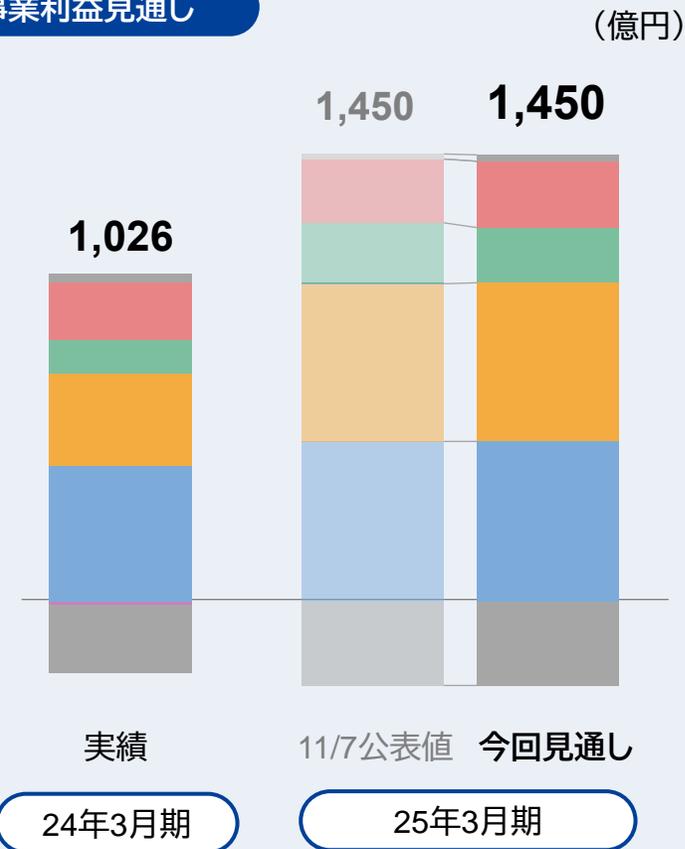
	2025年3月期 第3四半期 累計(4~12月)事業利益		2025年3月期 通期 事業利益			
	実績	前年同期比	前回見通し*	今回見通し	前回見通し比	
■ 繊維	500	+62	640	640	-	—
■ 機能化成品	481	+237	630	635	+5	↑
■ 炭素繊維複合材料	141	+27	240	220	-20	↓
■ 環境・エンジニアリング	170	+24	255	265	+10	↑
■ ライフサイエンス	▲ 9	-1	0	0	-	—
■ その他	10	-7	20	25	+5	↑
■ 調整額	▲ 205	-27	▲ 335	▲ 335	-	—
合計	1,088	+316	1,450	1,450	-	—

*前回見通し:2024年11月7日公表値

自己株式の取得状況

2024年11月の自己株式取得決議(取得価額総額の上限:1,000億円)に基づき、2025年1月末までに236億円(24百万株)の自己株式を取得した。

事業利益見通し



■ 繊維 ■ 機能化成品 ■ 炭素繊維複合材料
 ■ 環境・エンジニアリング ■ ライフサイエンス
 ■ その他 ■ 調整額

2025年3月期第3四半期決算の概要

2025年3月期第3四半期連結損益概要

億円

	24年3月期 第3四半期 (10~12月)	25年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	24年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	25年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
売上収益	6,300	6,298	-2 (-0.0%)	18,294	19,239	+945 (+5.2%)
事業利益	285	296	+11 (+3.9%)	772	1,088	+316 (+40.9%)
(売上収益事業利益率)	4.5%	4.7%	+0.2 ポイント	4.2%	5.7%	+1.4 ポイント
非経常項目	▲ 16	▲ 53	-37	▲ 58	▲ 49	+9
金融収益及び費用	▲ 16	0	+16	▲ 40	▲ 48	-8
持分法による投資利益	20	56	+36	89	86	-3
税引前当期利益	273	299	+26 (+9.4%)	763	1,076	+313 (+41.1%)
親会社 の 所 有 者 に 帰 属 す る 当 期 利 益	168	197	+29 (+17.0%)	457	752	+295 (+64.6%)

<為替レート>

	24年3月期 第3四半期 (10~12月)	25年3月期 第3四半期 (10~12月)	24年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	25年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	
円/US\$	期中平均	147.9	152.4	143.3	152.6
	期末	141.8	158.2	—	—
円/ユーロ	期中平均	159.1	162.6	155.3	164.8
	期末	157.1	164.9	—	—

非経常項目

億円

	24年3月期 第3四半期 (10~12月)	25年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	24年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	25年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
固定資産売却益	4	3	-1	11	38	+26
固定資産処分損	▲ 19	▲ 19	+0	▲ 45	▲ 42	+4
減損損失	▲ 1	▲ 17	-17	▲ 6	▲ 26	-20
製品保証費用*1	-	-	-	▲ 18	-	+18
経済補償金*2	-	▲ 19	-19	-	▲ 19	-19
非経常項目	▲ 16	▲ 53	-37	▲ 58	▲ 49	+9

*1 「炭素繊維複合材料事業」において当社が過去に製造・販売した一般産業用途の一部製品のうち、不具合の可能性があるものについて、その交換、補修等のために必要な費用。

*2 「機能化成品事業」における中国の樹脂コンパウンド製造・販売子会社 東麗塑料(深圳)有限公司から東麗樹脂科技(佛山)有限公司への生産移管に伴う従業員への支給見込み額。

資産・負債・資本、フリー・キャッシュ・フロー

億円

	24年3月末	24年12月末	増減
資産合計	34,665	35,051	+385
流動資産	15,226	16,090	+864
有形固定資産	10,811	11,281	+470
その他	8,628	7,679	-949
負債合計	16,202	15,912	-290
流動負債	8,657	9,044	+387
非流動負債	7,544	6,868	-677
資本合計	18,464	19,139	+675
自己資本*	17,360	17,997	+636
自己資本比率*	50.1%	51.3%	+1.3ポイント
有利子負債残高	9,497	9,258	-239
D/Eレシオ	0.55	0.51	-0.03

<フリー・キャッシュ・フローの状況>

	24年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	25年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,062	1,472	+410
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 869	▲ 589	+280
フリー・キャッシュ・フロー	193	883	+690

*自己資本＝親会社の所有者に帰属する持分

設備投資額・減価償却費・研究開発費

億円

	24年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	25年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
設備投資額	950	1,445	+496
東レ	189	411	+222
連結子会社	761	1,035	+274
減価償却費	990	997	+7
東レ	252	253	+1
連結子会社	737	744	+7
研究開発費	502	528	+26
東レ	349	365	+16
連結子会社	153	163	+10

主な設備投資案件

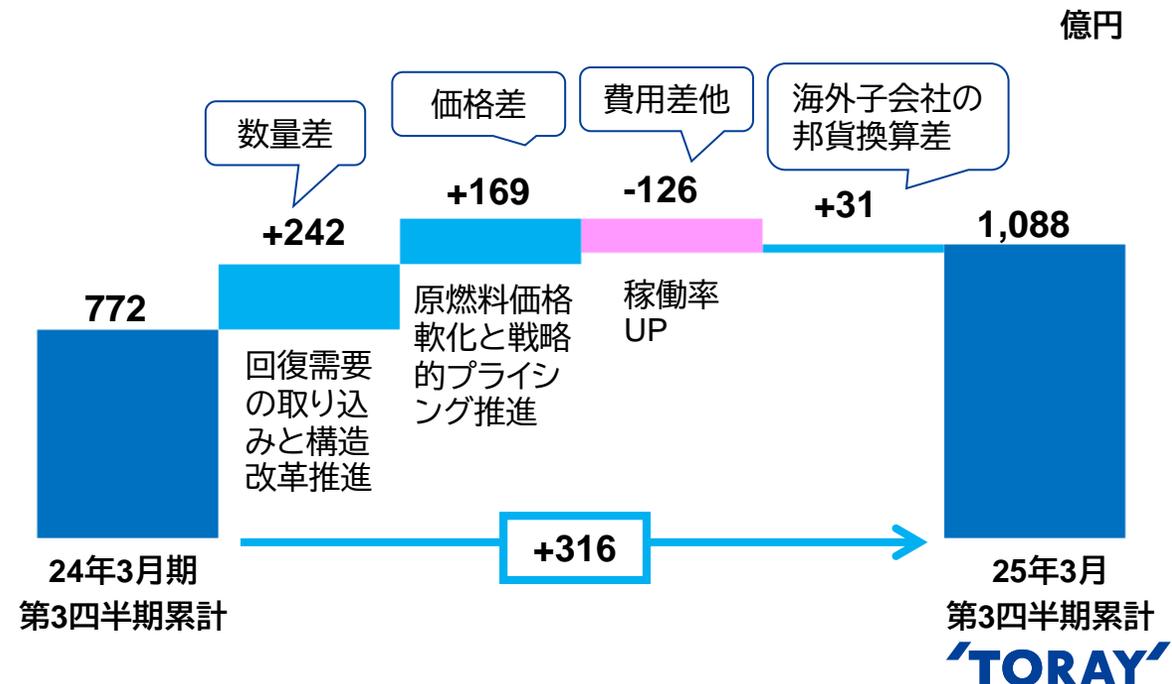
- Toray Advanced Materials Korea Inc. : PPS樹脂生産設備、炭素繊維生産設備
- Toray Composite Materials America, Inc. : 炭素繊維生産設備
- Toray Carbon Fibers Europe S.A. : 炭素繊維生産設備

セグメント別売上収益・事業利益、事業利益増減要因分析

		億円			
		24年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	25年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	
売上収益	繊維	7,454	7,746	+292	(+3.9%)
	機能化成品	6,596	7,120	+524	(+7.9%)
	炭素繊維複合材料	2,093	2,232	+139	(+6.7%)
	環境・エンジニアリング	1,650	1,625	-26	(-1.6%)
	ライファイブス	384	392	+8	(+2.2%)
	その他	117	124	+7	(+6.3%)
	合計	18,294	19,239	+945	(+5.2%)
事業利益	繊維	438	500	+62	(+14.1%)
	機能化成品	243	481	+237	(+97.4%)
	炭素繊維複合材料	114	141	+27	(+24.1%)
	環境・エンジニアリング	146	170	+24	(+16.4%)
	ライファイブス	▲ 8	▲ 9	-1	(-)
	その他	17	10	-7	(-39.7%)
	調整額	▲ 178	▲ 205	-27	
	合計	772	1,088	+316	(+40.9%)
事業利益率		4.2%	5.7%	+1.4ポイント	

< 25年3月期 第3四半期累計 連結業績実績 >

繊維、機能化成品、炭素繊維複合材料セグメントが堅調に推移。
特に機能化成品セグメントは、樹脂事業は中国市場等の需要回復、フィルム事業は前期の在庫調整からの需要回復・拡大を主因に大幅な収益改善となった。
これらの結果、全社事業利益は1,088億円となり、前年同期比40.9%の増益となった。

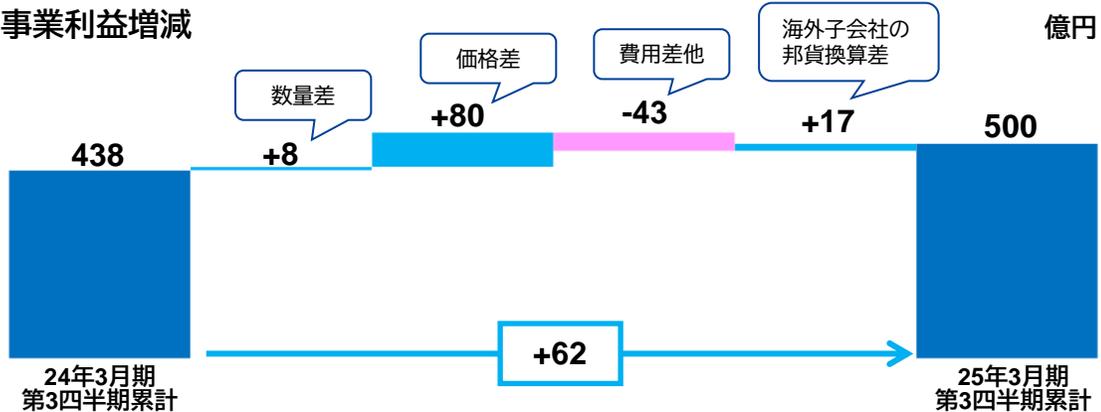


セグメント別業績(繊維)

		24年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	25年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	
売上収益	東レ	1,597	1,681	+85	(+5.3%)
	国内	3,671	3,783	+111	(+3.0%)
	海外	4,975	5,230	+255	(+5.1%)
	修正	▲ 2,789	▲ 2,948	-158	
	計	7,454	7,746	+292	(+3.9%)
事業利益	東レ	108	106	-2	(-2.1%)
	国内	126	116	-10	(-8.1%)
	海外	204	280	+76	(+37.2%)
	修正	0	▲ 1	-1	
	計	438	500	+62	(+14.1%)

億円

事業利益増減



< 概況 >

■ 全般

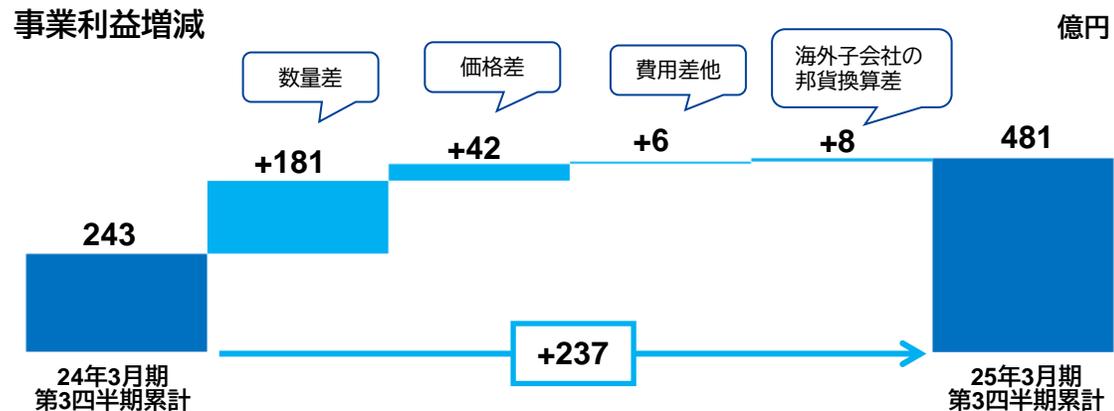
衣料用途は欧州市場の低迷や海外品との競争激化の影響は継続しているが、総じて堅調に推移した。産業用途は自動車用途が国内自動車メーカーの減産や欧州市況悪化などから本格回復に至らず、また中国EV市場での競争激化の影響を受けた。

<トピックス>

- 24年10月:
東レ独自の高捲縮糸を用いた高いストレッチ性を特長に持つ、Lightfix®を高度化した、新たなスタンダードテキスタイル「Lightfix®D (ライトフィックス®D)」を発表。Lightfix®Dは、Lightfix®の上位ブランドとして、ワーキング用途を中心に他の用途にも展開し2027年度に100万mの販売を目指す。
- 24年11月:
シルック®発売60周年を記念して、植物由来PETと複合紡糸技術NANODESIGN®を融合した新素材「シルック美来™ / SillookMirai™ (シルックミライ)」を開発。2025年春夏シーズン向けから、和装および洋装用途としてメンズ・レディース向けのアウターからボトムスまでの展開を予定し、2025年度 10万m、2027年度 50万mの販売を目指す。

セグメント別業績(機能化成品)

		億円			
		24年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	25年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	
売上収益	東レ	1,750	1,901	+151	(+8.6%)
	国内	3,641	3,805	+164	(+4.5%)
	海外	4,320	5,042	+722	(+16.7%)
	修正	▲ 3,115	▲ 3,629	-514	
	計	6,596	7,120	+524	(+7.9%)
事業利益	東レ	23	87	+64	(+277.9%)
	国内	170	194	+24	(+13.9%)
	海外	47	197	+150	(+317.7%)
	修正	3	2	-1	
	計	243	481	+237	(+97.4%)



< 概況 >

- 樹脂・ケミカル事業
国内自動車メーカーの減産の影響を受けたものの、中国およびASEAN向け非自動車用途の需要が回復した。
- フィルム事業
電子部品関連用途において、サプライチェーンの在庫調整の反動から需要が伸長した。
- 電子情報材料事業
有機EL関連材料・回路材料の需要に回復が見られた。

<トピックス>

- 24年10月:
光通信技術(シリコンフォトニクス*1)に用いられる光半導体*2(InP(インジウムリン)*3等)をシリコン基板上に実装するための材料および技術を東レエンジニアリング株式会社(以下、TRENG)と連携して開発。TRENGは、半導体実装用のボンダーおよびレーザーマストランスファーの設備技術を保有しており、今後も連携して、実デバイスを用いた技術確立を2025年までに実現し、早期の量産適用を目指す。
*1 シリコン基板上に光導波路、光スイッチ、光変調器、受光器などの光デバイスを集積する技術。
*2 光と電気を相互に変換する半導体デバイス。
*3 インジウムとリンからなるⅢ-V族化合物半導体。
- 24年12月:
伸縮性フィルム「REACTIS(リアクティス)®」の技術を深化し、高誘電率と高い復元性を備えた伸縮性フィルムを創出。本開発品は、ロボットの駆動に用いるアクチュエータやセンサーの軽量化・省エネ化に貢献する他に、3次元曲面に設置可能な柔軟センサーや環境発電用素子などへの展開が期待できる。

機能化成品のサブセグメント別 売上収益・事業利益

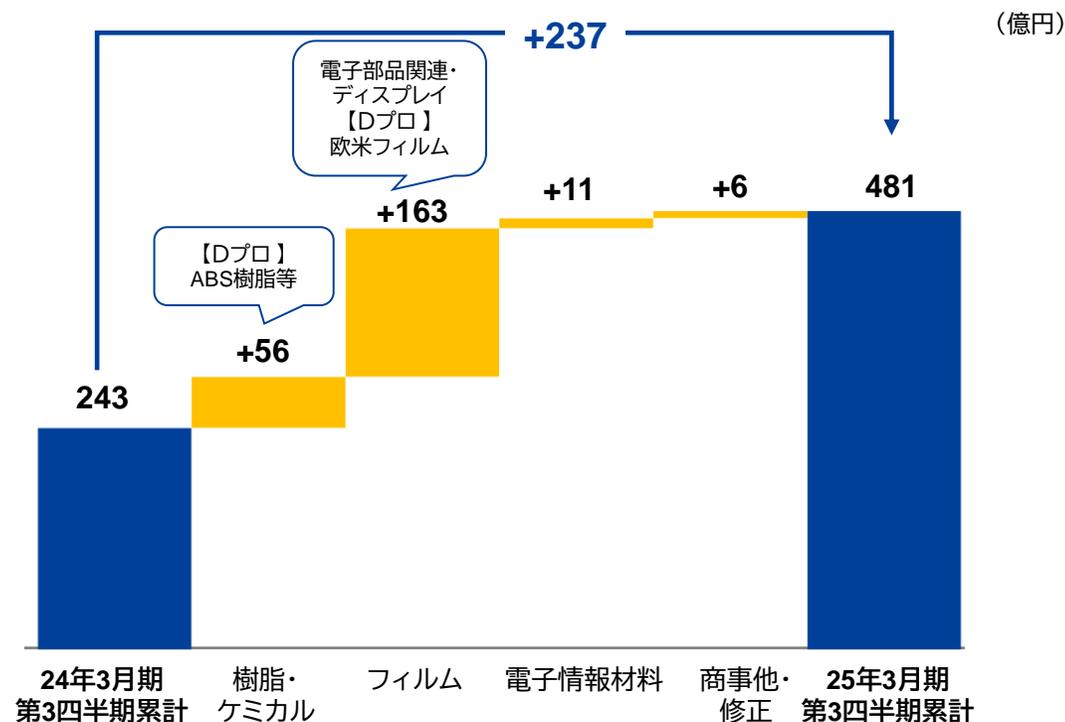
億円

	24年3月期 第3四半期累計 (4~12月)		25年3月期 第3四半期累計 (4~12月)			
		比率		比率	増減率	
売上収益	樹脂・ケミカル	2,924	30%	3,218	30%	+10%
	フィルム	2,415	25%	2,761	26%	+14%
	電子情報材料	482	5%	539	5%	+12%
	商事他	3,890	40%	4,231	39%	+9%
	修正	▲ 3,115	-	▲ 3,629	-	-
	合計	6,596		7,120		+8%
事業利益 合計	243		481		+97.4%	

< 機能化成品サブセグメント概況 >

- ・ 需要回復・稼働率アップによりフィルムは大幅な増益
- ・ 樹脂・フィルムの海外子会社の収益改善プロジェクト(Dプロ)が増益に寄与

サブセグメント別 事業利益増減



セグメント別業績(炭素繊維複合材料)

		24年3月期 第3四半期累計 (4~12月)		25年3月期 第3四半期累計 (4~12月)		増減	
売上収益	東レ	686	791	+105	(+15.3%)		
	国内	498	500	+2	(+0.5%)		
	海外	1,999	2,028	+29	(+1.5%)		
	修正	▲ 1,090	▲ 1,087	+3			
	計	2,093	2,232	+139	(+6.7%)		
事業利益	東レ	127	110	-17	(-13.3%)		
	国内	8	12	+5	(+58.9%)		
	海外	31	59	+28	(+90.4%)		
	修正	▲ 52	▲ 40	+12			
	計	114	141	+27	(+24.1%)		

億円

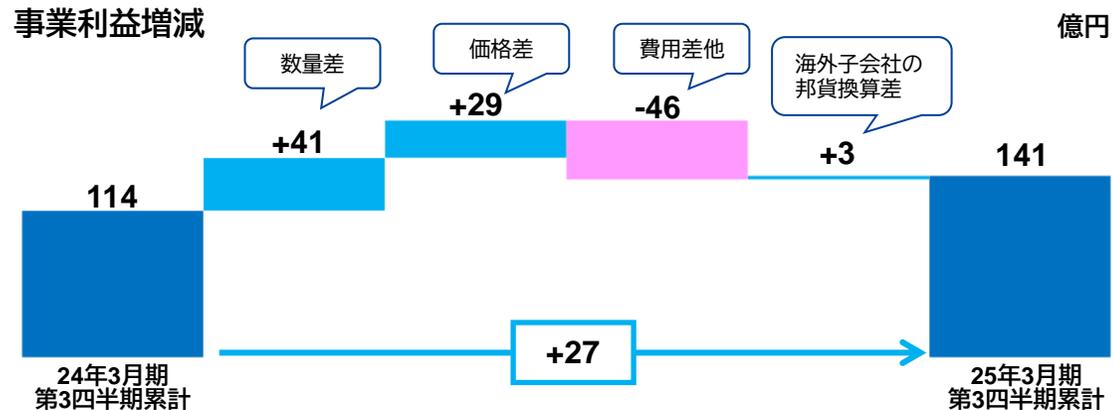
< 概況 >

■ 全般

航空宇宙用途は足元で在庫調整の影響を受け回復スピードが鈍化した
が、風力発電翼用途は緩やかな回復が続いた。

<トピックス>

- 24年11月:
米国のToray Advanced Composites (以下、TAC)は、コロラド州エン
グルウッドにて熱可塑性炭素繊維複合材料*1の製造販売を行う
Gordon Plastics LLC社の資産、技術および知的財産を購入する契
約を2024年10月に締結。TACは今回の投資により、熱可塑性炭素織
維複合材料の一方向テープの技術開発、試作および生産能力が増強
され、高融点樹脂を用いた複合材料製品ラインナップが拡充される。
*1 加熱により軟化する樹脂を炭素繊維で強化した材料。顧客要求仕様を満たしつつ、数分
やワンショットでの迅速な成形工程を可能にする。



炭素繊維複合材料のサブセグメント別売上収益

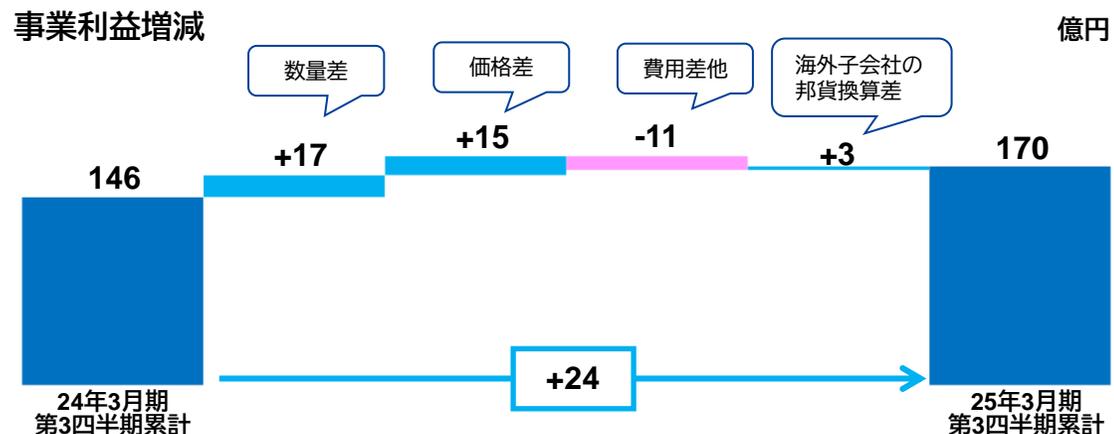
億円

	24年3月期 第3四半期累計 (4~12月)		25年3月期 第3四半期累計 (4~12月)		
	売上収益	比率	売上収益	比率	増減率
航空宇宙	627	30%	774	35%	+23%
スポーツ	204	10%	220	10%	+8%
一般産業	1,262	60%	1,238	55%	-2%
合計	2,093		2,232		+7%

セグメント別業績(環境・エンジニアリング)

億円

		24年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	25年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	
売上収益	東レ	277	331	+54	(+19.3%)
	国内	1,639	1,811	+172	(+10.5%)
	海外	515	553	+38	(+7.3%)
	修正	▲ 782	▲ 1,070	-289	
	計	1,650	1,625	-26	(-1.6%)
事業利益	東レ	30	40	+10	(+35.1%)
	国内	48	68	+20	(+40.8%)
	海外	64	61	-3	(-4.8%)
	修正	4	1	-3	
	計	146	170	+24	(+16.4%)



< 概況 >

- **水処理事業**
需要が堅調に推移したほか、中東向けの大型案件の出荷により増収増益となった。
- **国内子会社**
エンジニアリング子会社で案件の時期ずれにより減収となったものの、概ね堅調に推移した。

<トピックス>

- 24年10月:
インドネシア共和国におけるRefinery Development Master Plan Balikpapan案件*1向けに、当社逆浸透(RO)膜と限外濾過(UF)膜を一括供給した。本案件は、インドネシア最大の石油精製企業PT. Pertamina社における最大の案件の一つとなっている。
*1 PT. Pertaminaが手掛けるプロジェクトで、該社製油所の処理能力を日量360千バレルまで引き上げ、同時に輸入量を引き下げることを目的とする。
- 24年11月:
半導体分野等での超純水製造に向けて、下廃水再生水を原水とした場合に求められる尿素の除去性を2倍に高めた中性分子高除去・低圧逆浸透(RO)膜エレメント「TBW-XHRシリーズ」を2024年11月から国内水処理エンジニアリング会社向けに先行販売を開始。

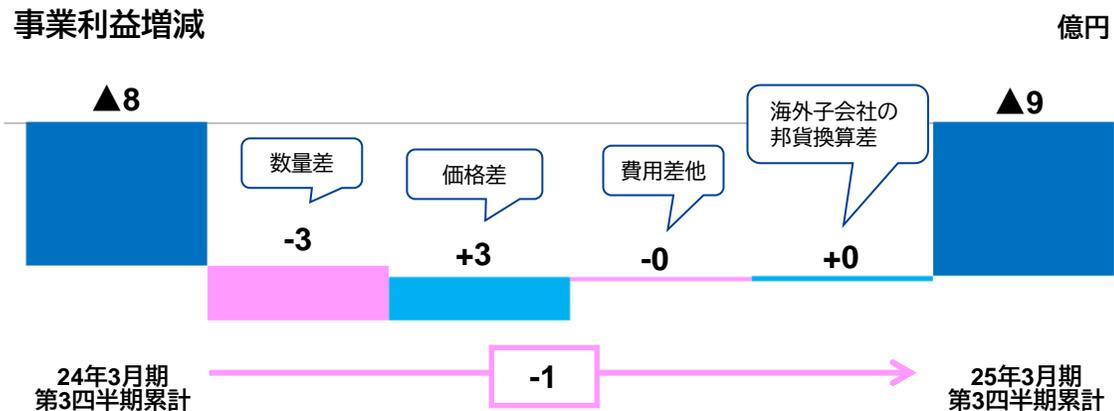
セグメント別業績(ライフサイエンス)

		24年3月期 第3四半期累計 (4~12月)		25年3月期 第3四半期累計 (4~12月)		増減	
売上収益	東レ	183	177	-6	(-3.3%)		
	国内	312	314	+3	(+0.8%)		
	海外	112	121	+9	(+7.7%)		
	修正	▲ 223	▲ 220	+3			
	計	384	392	+8	(+2.2%)		
事業利益	東レ	▲ 18	▲ 25	-7	(-)		
	国内	6	7	+0	(+4.9%)		
	海外	5	6	+1	(+12.4%)		
	修正	▲ 1	4	+5			
	計	▲ 8	▲ 9	-1	(-)		

億円

< 概況 >

- 医薬事業
後発医薬品浸透と薬価改定の影響を受けたほか、海外で販売量が伸び悩んだ。
- 医療機器事業
血液透析ろ過用ダイアライザーの出荷が国内外で堅調に推移したが、原燃料価格高騰の影響を受けた。



主要子会社・地域の収益状況

億円

		売上収益			事業利益		
		24年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	25年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	24年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	25年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
東レインターナショナル		4,457	4,843	+386	104	114	+10
東レエンジニアリング		881	872	-10	31	38	+8
東レ建設		275	289	+14	8	7	-1
東レフィルム加工		282	315	+33	13	24	+11
在東南アジア・子会社	繊維	1,176	1,224	+48	13	30	+17
	機能化成品	697	884	+187	▲ 1	42	+43
	その他	7	8	+1	0	0	+0
	計	1,880	2,116	+236	12	72	+60
在中国・子会社	繊維	2,203	2,477	+275	200	244	+44
	機能化成品	825	960	+135	64	61	-4
	その他	363	369	+6	36	30	-6
	計	3,390	3,806	+416	301	335	+35
在韩国・子会社	繊維	750	691	-59	▲ 25	▲ 7	+18
	機能化成品	1,218	1,346	+128	22	93	+71
	その他	266	236	-30	29	20	-9
	計	2,234	2,273	+38	27	106	+79



2025年3月期 連結業績見通し

2025年3月期連結業績見通し

業績見通しの前提

世界経済は、インフレ率の低下や金融緩和とともに緩やかに上向いていくものと見られ、国内経済も緩やかな回復が見込まれる。ただし、トランプ政権下における米国の財政政策や通商政策の動向、中国での不動産不況の長期化、欧州の政治情勢の不安定化、地政学リスクの高まり、日銀の金融政策変更や為替変動等が内外経済の下振れ材料として挙げられる。

億円

		24年3月期 実績	25年3月期 見通し	増減		11月7日公表値	11月7日公表値 との差異
売上収益	上期	11,994	12,941	+947	(+7.9%)	12,941	—
	下期	12,652	12,959	+307	(+2.4%)	12,959	—
	通期	24,646	25,900	+1,254	(+5.1%)	25,900	—
事業利益	上期	487	791	+305	(+62.6%)	791	—
	下期	539	659	+119	(+22.1%)	659	—
	通期	1,026	1,450	+424	(+41.3%)	1,450	—
親会社の所有者に 帰属する当期利益	上期	289	555	+267	(+92.3%)	555	—
	下期	▲70	325	+394	(-)	325	—
	通期	219	880	+661	(+301.9%)	880	—
基本的1株当たり 当期利益	上期	18.03円	34.66円	為替レート的前提 (1月以降) 145円/US\$			
	下期	▲4.35円	20.42円				
	通期	13.67円	55.14円				
1株当たり配当金	上期	9.00円	9.00円				
	下期	9.00円	9.00円				
	通期	18.00円	18.00円				
配当性向	通期	132%	33%				

セグメント別連結業績見通し

億円

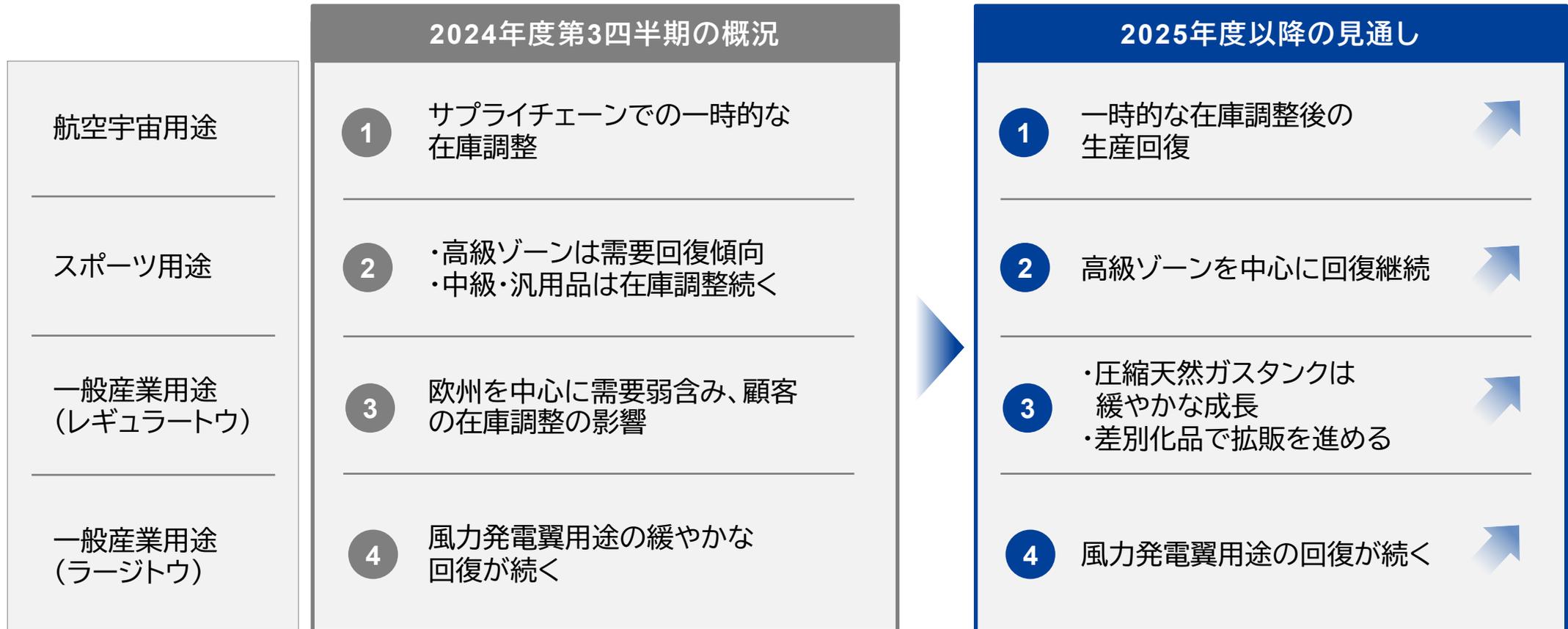
		24年3月期実績			25年3月期見通し			増減			11月7日公表値との差異		
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上収益	繊維	4,812	4,936	9,748	5,155	4,905	10,060	+343	-31	+312	-	-	-
	機能化成品	4,331	4,530	8,861	4,775	4,775	9,550	+444	+245	+689	-	+10	+10
	炭素繊維複合材料	1,411	1,493	2,905	1,528	1,512	3,040	+117	+19	+135	-	-30	-30
	環境・エンジニアリング	1,115	1,325	2,441	1,145	1,375	2,520	+29	+50	+79	-	+20	+20
	ライセンス	248	275	522	256	299	555	+8	+25	+33	-	-	-
	その他	76	93	169	82	93	175	+6	-1	+6	-	-	-
	合計	11,994	12,652	24,646	12,941	12,959	25,900	+947	+307	+1,254	-	-	-
事業利益	繊維	272	275	547	344	296	640	+72	+20	+93	-	-	-
	機能化成品	145	222	367	340	295	635	+195	+74	+268	-	+5	+5
	炭素繊維複合材料	76	56	132	117	103	220	+41	+47	+88	-	-20	-20
	環境・エンジニアリング	102	130	232	118	147	265	+16	+17	+33	-	+10	+10
	ライセンス	▲ 5	▲ 8	▲ 13	▲ 6	6	0	-1	+14	+13	-	-	-
	その他	8	25	33	6	19	25	-2	-6	-8	-	+5	+5
	調整額	▲ 111	▲ 160	▲ 272	▲ 128	▲ 207	▲ 335	-17	-46	-63	-	-	-
	合計	487	539	1,026	791	659	1,450	+305	+119	+424	-	-	-
事業利益率	4.1%	4.3%	4.2%	6.1%	5.1%	5.6%	+2.1p	+0.8p	+1.4p	-	-	-	

セグメント別事業利益の11月7日公表値との差異

セグメント	通期事業利益(億円) 11/7公表値→今回見直し ()内差異	増減益要因
繊維	640 → 640 (±0)	・ 前回見直し通り。
機能化成品	630 → 635 (+5)	・ 樹脂事業はABS樹脂を中心とした見直し比価格差改善、固定費削減を見込む。 ・ フィルム事業ではPETフィルムは概ね堅調に推移する見直しも、バッテリーセパレータフィルムのEV需要減速に伴う車載用途販売減の影響を見込む。
炭素繊維 複合材料	240 → 220 (-20)	・ 航空宇宙用途では3Qのサプライチェーンの在庫調整の影響を受け米国子会社の販売が減少する見直し。 ・ 一般産業用途のレギュラートウでは圧力容器用途は総じて堅調に推移するが、欧州で顧客の在庫調整の影響を受ける見直し。
環境・ エンジニアリング	255 → 265 (+10)	・ 需要環境はほぼ前回見直し通りだが、水処理事業の為替影響と、水処理エンジニアリング子会社で好調な官需の受注を織り込んだ。
ライフサイエンス	0 → 0 (±0)	・ 前回見直し通り。
その他	20 → 25 (+5)	
調整額	▲335 → ▲335 (±0)	
合計	1,450 → 1,450 (±0)	

炭素繊維複合材料セグメント 事業環境・見通し

- 第3四半期は、航空宇宙用途、産業用途でのサプライチェーン・顧客の在庫調整を主因に前四半期比減益
- 第4四半期以降、上記調整は回復傾向となり、販売・稼働向上を通じた収益改善を見込む



III

參考資料

セグメント別四半期推移

億円

		24年3月期					25年3月期		
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q
売上収益	繊維	2,238	2,574	2,642	2,294	9,748	2,448	2,707	2,591
	機能化成品	2,148	2,183	2,265	2,264	8,861	2,417	2,358	2,345
	炭素繊維複合材料	687	724	682	812	2,905	777	751	704
	環境・エンジニアリング	560	556	535	791	2,441	575	570	480
	ライフサイエンス	113	135	136	139	522	121	134	136
	その他	34	42	41	53	169	39	43	42
	合計	5,781	6,213	6,300	6,352	24,646	6,377	6,564	6,298
事業利益	繊維	109	163	166	109	547	148	196	156
	機能化成品	74	71	98	123	367	183	156	141
	炭素繊維複合材料	27	49	38	18	132	51	66	24
	環境・エンジニアリング	62	40	44	86	232	51	67	52
	ライフサイエンス	▲ 5	▲ 1	▲ 3	▲ 5	▲ 13	▲ 8	2	▲ 3
	その他	4	4	9	16	33	3	3	4
	調整額	▲ 52	▲ 59	▲ 67	▲ 94	▲ 272	▲ 61	▲ 68	▲ 77
	合計	219	268	285	254	1,026	368	424	296

機能化成品サブセグメント別四半期売上収益推移

億円

	24年3月期					25年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q
樹脂・ケミカル	938	958	1,029	988	3,912	1,063	1,072	1,083
フィルム	794	812	810	890	3,305	962	910	889
電子情報材料	156	157	170	172	655	191	181	167
商事他	1,311	1,225	1,354	1,335	5,225	1,411	1,432	1,387
修正	▲ 1,050	▲ 969	▲ 1,097	▲ 1,121	▲ 4,236	▲ 1,210	▲ 1,238	▲ 1,180
合計	2,148	2,183	2,265	2,264	8,861	2,417	2,358	2,345

炭素繊維複合材料サブセグメント別四半期売上収益推移

億円

	24年3月期					25年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q
航空宇宙	178	217	232	282	909	275	259	240
スポーツ	68	67	70	65	270	69	77	74
一般産業	442	440	379	464	1,726	433	415	391
合計	687	724	682	812	2,905	777	751	704

主要子会社・地域の四半期売上収益推移

億円

		24年3月期					25年3月期		
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q
東レインターナショナル		1,364	1,486	1,606	1,372	5,829	1,448	1,637	1,758
東レエンジニアリング		271	304	307	415	1,296	281	321	270
東レ建設		103	89	82	198	473	103	99	87
東レフィルム加工		91	93	98	94	376	101	104	110
在東南アジア・ 子会社	繊維	357	409	410	388	1,564	403	420	401
	機能化成品	224	228	245	253	950	282	304	298
	その他	3	2	2	2	9	2	2	3
	計	584	640	657	643	2,523	687	726	703
在中国・ 子会社	繊維	645	773	785	589	2,791	792	892	793
	機能化成品	253	273	298	280	1,105	313	324	324
	その他	118	123	122	113	476	130	122	117
	計	1,016	1,169	1,205	982	4,372	1,235	1,338	1,233
在韩国・ 子会社	繊維	253	249	248	266	1,016	248	229	214
	機能化成品	397	421	400	441	1,660	497	440	410
	その他	88	89	90	80	347	83	77	76
	計	738	758	738	787	3,022	828	745	700

主要子会社・地域の四半期事業利益推移

億円

		24年3月期					25年3月期		
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q
東レインターナショナル		28	40	35	30	134	31	40	43
東レエンジニアリング		8	11	12	32	63	10	14	15
東レ建設		9	▲ 0	▲ 1	14	22	3	7	▲ 2
東レフィルム加工		4	2	7	9	22	6	7	10
在東南アジア・ 子会社	繊維	▲ 5	6	12	13	26	14	11	5
	機能化成品	▲ 5	▲ 3	7	12	11	11	14	17
	その他	0	▲ 0	0	0	1	0	0	0
	計	▲ 9	3	19	26	38	25	26	22
在中国・ 子会社	繊維	46	75	79	57	257	73	95	76
	機能化成品	19	20	26	28	92	23	22	15
	その他	15	11	10	5	42	12	9	9
	計	79	106	116	90	391	107	127	101
在韩国・ 子会社	繊維	▲ 0	▲ 11	▲ 13	▲ 15	▲ 40	▲ 3	▲ 4	0
	機能化成品	12	4	6	12	34	48	26	19
	その他	13	9	8	6	35	9	4	7
	計	24	2	1	3	29	54	26	26

ESGに関する社外からの評価

■ MSCI

2024年6月

MSCI
ESG RATINGS



CCC B BB BBB A AA **AAA**

■ CDP

2025年2月

Water Security: A
Climate Change: B



■ S&P Global Sustainability Yearbook Member

2024年2月

Toray Industries, Inc.
Chemicals

**Sustainability
Yearbook Member**

S&P Global Corporate Sustainability
Assessment (CSA) Score 2023

S&P Global CSA Score 2023: 43/100
Score date: February 7, 2024
The S&P Global Corporate Sustainability Assessment (CSA) Score is the S&P
Global ESG Score without the inclusion of any modeling approaches.
Position and scores are industry specific and reflect exclusion screening criteria.
Learn more at <https://www.spglobal.com/esg/insights/yearbook/methodology>

S&P Global



■ 海外主要インデックスの構成銘柄に選定

2024 MSCI ESG Leaders
Indexes Constituent

2024年6月

「MSCI ESG Leaders Indexes」



FTSE4Good

2024年6月

「FTSE4Good Index Series」

2024年12月

「Dow Jones Sustainability Index(DJSI)」の
Asia/Pacific Index

■ GPIFが採用するESG指数の構成銘柄に選定



**FTSE Blossom
Japan Index**



**FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index**



**2024 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数**

※1 東レ(株)のMSCI ESG Research LLCまたはその関連会社(「MSCI」)のデータの使用や、MSCIのロゴ、商標、サービスマークやインデックス名の使用は、MSCIによる東レ(株)の後援、宣伝、販売促進ではありません。

MSCIのサービスとデータは、MSCIまたはその情報プロバイダーの財産であり、「現状有姿」にて提供され保証はありません。MSCIの名称とロゴは、MSCIの商標またはサービスマークです。

※2 東レ(株)がMSCIインデックスに含まれること、およびMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたはインデックス名の使用は、MSCIまたはその関連会社による東レ(株)への後援、宣伝、販売促進には該当しません。

MSCIの独占的著作権であるMSCI、MSCIインデックス名およびロゴは、MSCIまたはその関連会社の商標もしくはサービスマークです。

本資料中の業績見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。

'TORAY'

Innovation by Chemistry